

オープントーナメント

北信越空手道選手権大会試合規約

国際空手道連盟 極真会館

福井総県本部 高橋道場 全日本極真連合会

1. 試合時間
幼年・小学生・中学生：予選 本戦 2分、延長 1分、体重判定、最終延長 1分
準決勝～本戦 2分、延長 1分、再延長 1分、体重判定、最終延長 1分
高校生・女子・壮年・一般：予選 本戦 2分、延長 1分、体重判定、最終延長 1分
： 準決勝～本戦 3分、延長 2分、延長 2分、体重判定、最終延長 2分

体重判定は（幼・小中学生は 3キロ以上、高校生・女子は 5キロ以上、一般・壮年は 10キロ以上）をもって、勝敗を決する。
2. 防 具
幼年・小学生 1年～3年生：グローブ、スネサポーター、ヒザサポーター、ファールカップ、ヘッドギア

小学 4年～6年生・中学生：グローブ、スネサポーター、ヒザサポーター、ファールカップ、
高校生：グローブ、スネサポーター、ヒザサポーター、ファールカップ
一 般・壮年：ファールカップ
女 子：チェストガード、グローブ、スネサポーター

マウスガード（マウスピース）を極力使用すること。
ヘッドギアは主催者が用意する。それ以外は選手各自が用意すること。
グローブ、スネサポーターは布製・革製どちらでも良いが、硬質の素材が入っていない物であること。
大会医師、審判長の許可のないテーピングの使用は認めない。
3. 着 衣
清潔な空手着を着用し、主催者が用意したゼッケンを背中中央に貼付けること。
また、各流派を表す印章刺繍等も白い布で覆い隠すこと。
4. 勝 者
一本勝ち、判定勝ち、相手の反則ないし失格による勝ちにより決定する。
5. 一本勝ち
反則箇所を除く部分への突き、蹴り等で技を決め、3秒以上相手が立ち上がらないとき。
相手の戦意が喪失したとき。
技ありを 2回であわせ一本となる。

- 6 . 技 あ り 反則箇所を除く部分への突き、蹴り等で技を決め、そのダメージにより、一時的に動きが止まったり、体勢が大きく崩れた場合。足掛けや下段蹴りの合わせ技で相手をきれいに倒し、且つ下段突きを決めた場合、技ありとなることがある。
- 7 . 判 定 一本勝ち、失格以外において、主審、副審 4 名の内過半数の判定で決める。勝敗を決する判定が過半数に満たない場合、延長戦を行う。延長戦によっても決まらない場合は、再延長戦、体重判定、最終延長戦により勝敗を決する。
- 8 . 反 則 手技による首から上への攻撃。
金的蹴り、頭突き。
倒れている相手への攻撃。
背後からの攻撃。
掌底押し、正拳押し、掴み、投げ、手かけ、抱え込み。
技の掛け逃げ。
再三にわたる場外への逃げ。
その他、審判が特に反則とみなした場合。
反則は、悪質なものを除き、注意が与えられる。悪質な場合、減点若しくは失格もあり得る。
注意 2 回で減点となる。
- 9 . 失 格 減点を 2 回重ねたとき。
試合中、審判員の指示に従わないとき。
出場時刻に遅れたり、出場しないとき。
粗暴の振る舞いや悪質な試合態度とみなされたとき。
応援態度が悪質な場合にも、該当選手が減点若しくは失格となり得ることがある。
申告体重を 5 キロ以上超えているとき。
- 10 . そ の 他 判定に対する抗議は一切認めない。